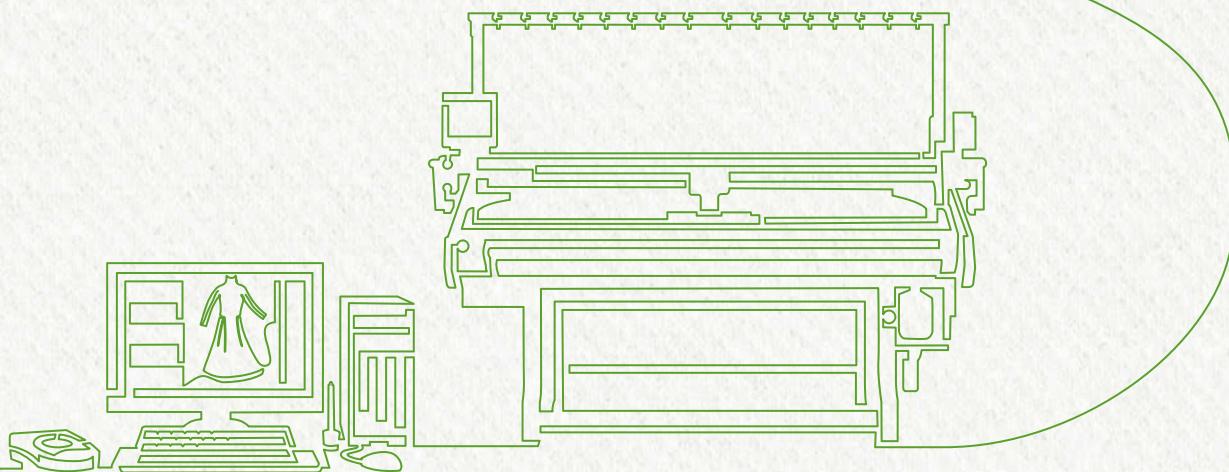


株主の みなさまへ

第57期第2四半期 営業のご報告

2017年4月1日～2017年9月30日



社員一人ひとりが チャレンジ精神を持ち、 新たなイノベーションを 生み出していきます。

この6月、当社の代表取締役社長に就任した島三博が、経営トップとしての意気込みと目指すべき会社の将来像について語ります。

——これまでどのような仕事に取り組んできましたか？

業界の常識を破った三次元CADシステム

入社後10年ほどは、主にデザインシステムの営業を担当し、その後、デザインシステムの開発部長に任じられました。

開発部時代で一番印象に残っているのは、2007年の「SDS®-ONE APEX」の開発です。アパレルデザインは型紙に象徴される平面の世界で、一般の工業製品のように三次元的设计図を使用していませんでした。そのため「アパレルに

代表取締役社長

島 三博

プロフィール

1961年生まれ。日本大学理工学部卒。1987年に島精機製作所入社。1998年にシステム開発部長、その後、トータルデザインセンター部長、生産本部長などを歴任。2012年に取締役副社長に就任、2017年6月より代表取締役社長を務める。

三次元CADは必要なし」というのが当時の業界の常識であり、当社のデザインシステムも二次元CADでした。

しかし、立体物である衣料品を三次元でイメージし、二次元の設計図を作成することは非常に難しく、開発担当者は頭を抱えていました。そこで私は「もっと自然に考えて、三次元のシステム設計に挑戦しよう」と提案したのです。少人数のプロジェクトチームで試行錯誤を重ね、アパレルデザイナーにも受け入れられるような三次元システムを作り上げることができました。

2012年に取締役副社長に就任し、より中長期的な視点での経営を重要視するようになりました。

当社として初めてとなる「中期経営計画」を2015年8月に発表しましたが、10年後のビジョンをもとに、“次の50年”の持続的な成長に向け、直面するさまざまな課題に取り組んでいこうと、自ら主導し策定しました。これも当社にとって大きな挑戦でした。

——社長就任後、どのようなことに力を入れていますか？

社員が自由にアイデアを提案できる企業風土に

まずは、全社の意識改革です。シマセイキという会社は、独創的な技術力で繊維業界にイノベーションを起こし、成長を遂げてきました。当社の経営理念「Ever Onward—限りなき前進」とは、常に“世の中にないもの”を創り出し、世の中のお役に立つことです。これまでは、創業者である島正博が先頭に立ち、高い理想や目標を掲げ、チャレンジし続けてきました。しかし、今後も長き将来にわたって持続的成長を目指していくには、社員一人ひとりがイノベーションを起こしていかなければなりません。

そのためには、全ての社員が自分の考えを自由に提案で

きる企業風土を醸成していこうと考えています。職種やキャリアに関わらず、社員誰もがアイデアを発信して経営に参画し、チャレンジできる企業が目標です。チャレンジには失敗がつきものですが、それも学びになります。社員全員がどんどん学び、知恵を出し合って、“世の中にないもの”を生み出し続ける、創造力あふれる企業を目指していきます。

——中長期での成長戦略をどのように考えていますか？

あらゆる知恵の融合でイノベーションを創出

一つの方向は「クラウド化・ネットワーク化」です。アパレル業界における現在の課題は、生産工程にかかるリードタイムをいかに短縮できるかであり、それに貢献できるシステムやサービスを提供していくことが当社の役割だと考えています。当社では、IoTを駆使してマーケティングから企画・デザイン、生産、販売までをクラウドで管理できるソリューションも開発しており、これからも市場ニーズに即したサービスを提供していきます。

もう一つの方向性は、「人が身につけるもの」以外の分野にも横編機を活用していくことです。従来の製造方法では材料ロスが出る工業製品も、ホールガーメント[®]横編機を活用することで材料ロスのない効率的な生産ができるはずですが、立体的なものを作り上げることができるホールガーメント横編機は、素材の糸や製造方法によって、工業製品などへの応用も可能で、私たちのビジネス領域を大きく広げられるのではないかと考えています。

このように、これからの時代はあらゆる知識・技術を融合させる戦略が重要になります。全社員が一丸となって、新たなイノベーションに挑戦していきます。

横編機事業を中心に、大幅な増収・増益を達成。 中期経営計画の達成に向け、全社一丸となって邁進します。



代表取締役社長
島 三博

代表取締役会長
島 正博

Q 上半期(2018年3月期)の主な取り組みと業績について説明してください。

A コンピュータ横編機の需要拡大と為替の安定により、売上・利益とも大きく増加しました。

上半期は、コアビジネスの横編機事業が前期(2017年3月期)からの好調を維持し、アジア地域を中心に受注を拡大することができました。そのため、例年は生産量が落ち着く第2四半期においても、工場はフル稼働状態が続きました。

この結果、上半期の連結売上高は355億69百万円(前年同期比20.1%増)の増収となりました。利益面では、売上高の増加に加えて増産効果による売上総利益率の改善などにより、営業利益は80億60百万円(同46.5%増)の増益となりました。また経常利益については、前期に営業外費用で計上した大幅な為替差損が為替差益に転じたことなどから、88億84百万円(同284.4%増)の大幅増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益も65億29百万円(同287.8%増)と大きく増加しました。

Ever Onward — 限りなき前進

当社は、「手袋編機の全自動化」という難課題を実現するため、島正博によって1962年に設立されました。

「Ever Onward—限りなき前進」を経営理念に掲げ、常に新しい技術の開発を目指して、惜しみない努力と未知なる領域への挑戦を続けてまいりました。

創業以来、時代のニーズを先取りした横編機やデザインシステムを次々と開発し、世界のトップメーカーへと成長。1990年代には、「産業革命に匹敵する」と評された無縫製の「ホールガーメント®横編機」の開発に成功しました。

今後も新たな技術開発へのチャレンジを続けながら、企画提案型のビジネスモデルの浸透を図り、アパレル産業をはじめユーザー業界の発展に貢献してまいります。

Q 事業分野別の状況について説明してください。

A ASEAN諸国、中国市場を中心に横編機事業が伸長しました。

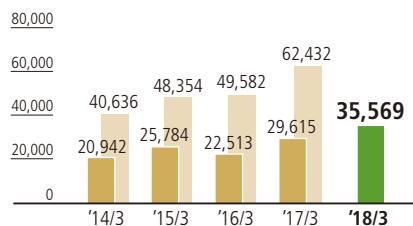
横編機事業では、前年に引き続きアジア市場が事業全体を牽引しました。

特に、欧米や日本向けニット製品の大量生産拠点である

バングラデシュ、ASEAN諸国で販売が順調に拡大しました。また、昨年に設備投資が回復した中国市場でも、国内向けアパレル需要の変化を反映して、高付加価値製品の生産・販売に取り組むSPA(アパレル製造小売業)型ニットメーカーにホールガーメント®横編機の導入が進みました。これらに加えて中国やベトナムでは、シューズ生産向けにコンピュータ横編機の活用が高まったことも売上増加につながりました。一方、欧州市場では、ファッション産業の中心地であるイタリアで

売上高

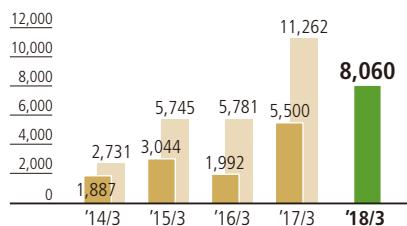
(百万円)



■ 第2四半期累計 ■ 通期

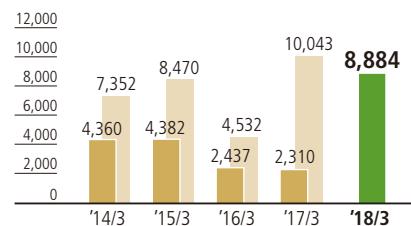
営業利益

(百万円)



経常利益

(百万円)



ホールゲーム横編機の販売が伸長しましたが、地域全体では前年同期並みとなりました。また国内市場は、設備投資が低調に推移したことで、前期に比べて減少しました。

デザインシステム関連事業においては、「SDS®-ONE APEX3」が国内・海外とも堅調に売上を伸ばしました。ニット業界にはホールゲーム横編機と連携したプログラミングのシステムとして導入が増加したほか、国内を中心にニット業界以外の多様な業種でもデザインツールとしての活用が広がりました。自動裁断機「P-CAM®」も、国内を中心に家具、自動車関連、航空機関連、産業資材分野など異業種分野への導入が堅調に進みました。

Q 下半期以降の主な取り組みと業績見通しについて説明してください。

A ホールゲーム横編機の生産体制を強化し、全世界で拡販を進めます。

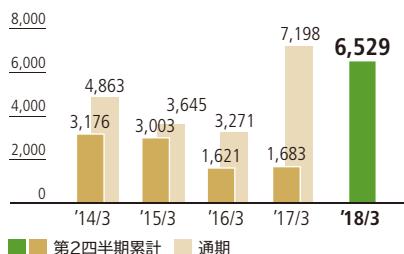
下半期も引き続き各国・地域の顧客ニーズに密着した提案活動をグローバルで展開していきます。この11月には、当社の創立55周年記念イベントを和歌山で開催しました。これは

単なる創立記念イベントではなく、当社の最新の技術や製品、今後の方向性をアピールする重要な営業の機会であり、世界各国から1,000名を超えるお客様を和歌山に招き、最新機種種の展示、デモ、オリジナルデザインによる多彩なニットサンプル約500点の展示やファッションショーなど、全社をあげて精力的な提案活動に努めました。こうした活動を下半期以降のさらなる受注拡大につなげていきます。

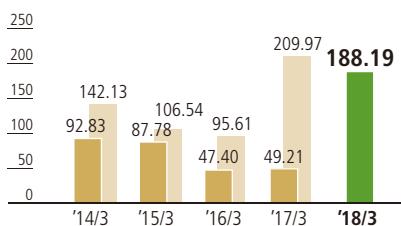
また下半期は、ホールゲーム横編機の拡販に注力していきます。中国や先進国市場を中心に各地で積極的に営業活動を展開するとともに、生産面も強化していきます。2017年10月に建設した新工場も含めて生産体制を増強し、拡大する受注に対応していきます。

これらの取り組みにより、通期連結業績は売上高730億円、営業利益150億円、経常利益150億円、親会社株主に帰属する当期純利益100億円を計画しています。

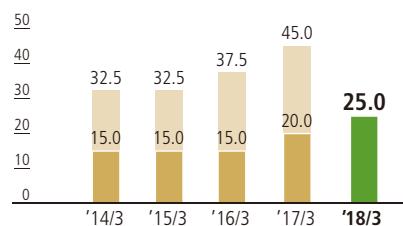
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



1株当たり配当金 (円)



Column

当社の「全自動手袋編機(角型)」が 日本機械学会の「機械遺産」に認定されました

次世代に伝えるべき文化遺産として

当社の「全自動手袋編機(角型)」が、一般社団法人日本機械学会より2017年度の「機械遺産」に認定されました。

2007年に日本機械学会の創立110周年記念事業としてスタートした「機械遺産」は、日本国内の技術面で歴史的意義のある機械を文化的遺産として次世代に伝えることを目的としています。また、社会の発展に貢献したことに加えて、現存し実際に動かせる状態であることなどが選定条件です。

手袋生産に革命をもたらしたシマセイキの“原点”

当社の会長である島正博が1964年に開発した「全自動手袋編機」は、シマセイキ創業の“原点”となった機械。指先から各指のつなぎ、手のひら、手首まで一体化した編成を全自動で実現した画期的な製品でした。手袋1枚の編成に要する時間はわずか2分15秒で、さらに1人で30台まで運転管理が行えるため、手袋メーカーの生産効率を劇的に向上させました。

今年度の「機械遺産」には、当社の「全自動手袋編機」のほか、国産初の地下鉄車両「モハ1000形1001号」や有人潜水調査船「しんかい2000」など7件が認定されています。



Q 中長期の展望と株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 全社一丸でチャレンジを続け、事業を新たな成長軌道に乗せていきます。

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けています。当期の中間配当金については、堅調な業績を鑑み、昨年から5円増配の25円とさせていただきます。これに期末配当金25円を合わせ、年間配当金は1株につき50円で実施させていただく予定です。

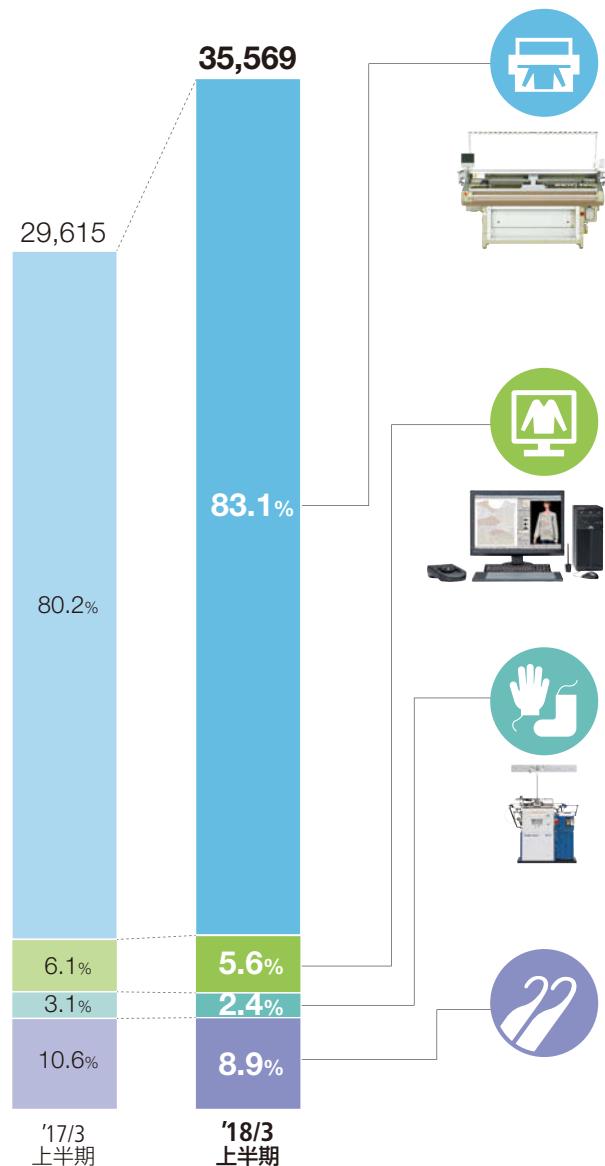
当期は3年前に策定した中期経営計画「Ever Onward 2017」の最終年度です。この3年間、さまざまな事業環境の変化がありましたが、その中で当社は成長軌道に向けて着実に前進を続けてきました。次回の中期経営計画についても、現在各部門で具体的な事業計画や戦略、目標数値などの検討を進めており、全社一丸となって取り組める計画を策定する予定です。

またさらなる成長に向け、この8月に第三者割当による新株予約権の発行により約100億円の資金を調達しました。調達資金は新工場の建設費のほか、横編機事業やデザインシステム関連事業における新製品の開発、生産設備の自動化や新たな工作機械の導入などに投資していく方針です。

経営理念「Ever Onward—限りなき前進」のもと、当社はこれからも世界のファッション産業を大きく変革する製品・サービスの創出に挑戦し続けてまいります。株主の皆様には、引き続き当社への温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

事業別売上高構成比

(百万円)



横編機事業

アジア市場ではバングラデシュやASEAN諸国などを中心に旺盛な設備投資が続き「SSR®」や「SVR®」の販売が拡大しました。中国市場では市場ニーズの変化が進み、ホールガーメント®横編機の導入が進んだほか、シューズ分野への横編機活用も広がりました。欧州市場ではイタリアでホールガーメント横編機の販売が伸長しました。売上高は295億69百万円(前年同期比24.5%増)となりました。

デザインシステム関連事業

「SDS®-ONE APEX3」は、ニット業界だけでなく、テキスタイルやインテリア、家具、雑貨などの異業種にもデザインツールとしての採用が広がりました。自動裁断機「P-CAM®」は機種バリエーションの拡充により、家具、自動車関連、航空機関連、産業資材分野などアパレル以外の分野にも導入が堅調に進みました。売上高は19億80百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

手袋靴下編機事業

当社製品の安定性や品質は高い評価を受けており、大手ユーザーの設備更新が進んだものの、売上高は8億69百万円(前年同期比5.4%減)となりました。

その他事業

メンテナンス部品の販売やアフターサービスの売上が堅調に推移した一方、国内アパレルの不振から糸やニット製品の販売は伸び悩み、売上高は31億50百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

受賞

ホールガーメント®が2017年度「グッドデザイン・ベスト100」と特別賞を受賞

当社の「無縫製ニットウェアシステム(ホールガーメント)」が、公益財団法人デザイン振興会主催の「2017年度グッドデザイン・ベスト100」に選ばれ、さら
にその中でも「グッドデザイン特別賞[未来づくり] (経済産業省商務・サービス
審議官賞)」を受賞しました。「グッドデザイン賞」は、日本唯一の総合的なデザ
イン評価・推奨の運動で、今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する
世界的なデザイン賞です。

当社が提唱してきた「トータルファッションシステム®」は、ホールガーメント
横編機と「SDS®-ONE APEX3」の組み合わせにより、企画からデザイン、生産、
流通、マーケティング、販売までの繊維産業の流れを刷新するトータル的なもの
づくりを実現します。また、縫製では表現できない立体的な商品づくりや、消費地型
生産へのシフト、さらには在庫リスクを抱えることなく環境に配慮することが
求められる製造業の先進事例としての期待と評価が今回の受賞につながりました。



設備投資

フレキシブルな生産体制の構築を目指して新工場を建設

2017年10月、当社はホールガーメント横編機などの需要増加に対応してい
くため、本社敷地内に新工場を建設しました。バングラデシュやASEAN諸国、
中国などを中心にコンピュータ横編機の需要が拡大を続けていることに加え、
ホールガーメント横編機の需要が広がり、増産体制構築が喫緊の課題となっ
ていたことから今回の新工場建設に至りました。同工場では、横編機の主要部品
の機械加工や生産、さらに自動裁断機の部品加工などを行います。

今後も当社は、さらなる成長に向けて積極的に生産設備の自動化や新たな
工作機械の導入、製品開発投資などを実施していきます。



特集 ホールガーメント®活用の広がり

コンパクトなホールガーメント®横編機が、 新たなビジネス分野を開拓しています

従来のアパレル以外の
ビジネス分野を開拓



ホールガーメント横編機
SWG®-N2シリーズ



靴に



ファッション
小物に



スポーツ
用途に



インテリアに



メディカル
用途に

産業
用途に

コンパクトなホールガーメント横編機 「ホールガーメントミニ」

ホールガーメントミニ(「SWG-N2」シリーズ)は、編み幅1メートル以下のコンパクトタイプのホールガーメント横編機です。

編み幅25cmから90cmまでの4機種をラインアップしており、そのコンパクトさを利用して手袋や靴下、レギンス、ネクタイ、帽子といったニット小物の生産現場で活用されているほか、ベビー・幼児向けニットウェア、ジュニア用ワンピース、レディース用タンクトップなど編み幅の小さい衣料品の効率的な編成にも使われています。

ホールガーメントユーザーの裾野が拡大

ホールガーメントミニとデザインシステムを連携させることにより、ユーザーはプログラムを組むだけで完成品を編み上げられます。

編成後の裁断・縫製の工程が不要になるため、当社では横編機ユーザー以外にも積極的に提案しています。後工程での縫製が必要な丸編機ユーザーへの提案はもちろん、医療、スポーツ、産業資材などファッション業界以外へもホールガーメントミニを提案し、利用されるビジネス分野の拡大に注力しています。



株式会社タイコー
代表取締役社長
神田 一平 様



ニット・テクノロジーの創造

株式会社 **タイコー**

<http://taikojapan.jp/>

長野県長野市にある、従業員約50人（パート含む）のニット関連商品の製造メーカー。丸編機70台や当社のホールガーメントミニ25台などを設備。



本社・下駒沢ニット工場

ホールガーメントミニの特長を生かし、 地域や産業の枠を超えたビジネスを 展開していきます

創業以来、丸編みの活用範囲を追求

創業約70年となる当社は、これまで丸編機を活用し、靴下を中心に、独創的な製品を生み出してきました。約20年前には、それまでなかった左右専用の靴下を開発し、特許を取得。その後も、イタリア製の最新の丸編機を導入し、5本指ソックスを製造するなど、丸編みの技術を深耕してきました。

※丸編機：丸編機は、円形を描きながら編んでいき、靴下など筒状のニットを高速に作り出せる機械。

ホールガーメントミニに出会い、大きな可能性を直感

丸編機はあくまで円筒形のニットを作る専用の編機であり、徐々に技術の限界を感じていました。そんなとき、展示会でシマセイキのホールガーメントミニの存在を知り、商品の幅を広げたいと導入を決めました。

ホールガーメント横編機なら、丸編機ではできない自由なものづくりが可能です。例えば、5本指ソックスでも、丸編みだとどうしても指の先端がフィットしない編み方になってしまいますが、横編機では



ホールガーメント
製品の一部

それを解消できます。さらに、ホールガーメントミニであれば縫製が不要なため、生産工程にかかるリードタイムが短縮できるなど、多くのメリットがあります。

最近では靴下だけでなく、手袋、帽子、マフラーなどセットでの注文も多く、ホールガーメントミニを活用すればそれら全てを作ることができるのも大きなメリットです。

このように、さまざまなアイデアをカタチにするためには、ホールガーメントミニが必要不可欠になっています。

医療機器や海外への展開も視野に

現在、地元大学との共同研究で、医療向け製品の開発や、海外の展示会にも積極的に出展しています。今後はホールガーメント横編機を活用しながら、依頼されたものを作るOEM生産だけでなく、世界に展開できるオリジナルブランドを作り、地域や産業の壁を突破していきたいと考えています。

そのためにも、シマセイキには既存のニットの枠を超える付加価値のあるものづくりができる製品を作ってほしいと願っています。

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 2017年9月30日現在	前第2四半期末 2016年9月30日現在	前期末 2017年3月31日現在	科 目	当第2四半期末 2017年9月30日現在	前第2四半期末 2016年9月30日現在	前期末 2017年3月31日現在
流動資産	119,136	90,986	105,736	流動負債	31,857	26,172	32,450
現金及び預金	27,505	9,554	19,160	支払手形及び買掛金	3,954	3,954	5,220
受取手形及び売掛金	71,859	61,766	67,268	電子記録債務	1,317	2,473	2,457
その他	22,089	21,084	21,152	短期借入金	13,718	7,800	9,975
貸倒引当金	△ 2,318	△ 1,419	△ 1,844	1年内返済予定の長期借入金	—	5,000	5,000
固定資産	38,408	36,140	36,194	その他	12,867	6,944	9,797
有形固定資産	22,717	21,110	21,821	固定負債	4,830	3,747	4,600
土地	11,322	10,928	10,962	負債合計	36,687	29,920	37,051
その他	11,395	10,182	10,858	株主資本	126,615	105,374	110,923
無形固定資産	3,987	3,910	4,146	資本金	14,859	14,859	14,859
のれん	3,665	3,684	3,873	資本剰余金	25,867	21,724	21,724
その他	322	225	273	利益剰余金	86,141	75,699	80,480
投資その他の資産	11,702	11,120	10,226	自己株式	△ 253	△ 6,908	△ 6,140
投資有価証券	8,815	7,560	8,058	その他の包括利益累計額	△ 5,771	△ 8,357	△ 6,108
その他	4,092	6,810	3,752	その他有価証券評価差額金	1,143	554	919
貸倒引当金	△ 1,205	△ 3,249	△ 1,583	土地再評価差額金	△ 7,003	△ 7,003	△ 7,003
資産合計	157,544	127,127	141,931	為替換算調整勘定	△ 135	△ 2,103	△ 250
				退職給付に係る調整累計額	223	194	226
				新株予約権	—	180	55
				非支配株主持分	12	9	8
				純資産合計	120,856	97,206	104,879
				負債純資産合計	157,544	127,127	141,931

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	前第2四半期累計 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
1▶ 売上高	35,569	29,615	62,432
売上原価	18,479	15,605	33,384
売上総利益	17,089	14,010	29,048
販売費及び一般管理費	9,029	8,509	17,786
2▶ 営業利益	8,060	5,500	11,262
営業外収益	1,042	544	1,078
営業外費用	218	3,734	2,296
3▶ 経常利益	8,884	2,310	10,043
特別利益	41	18	168
特別損失	—	42	232
税金等調整前 四半期(当期)純利益	8,925	2,286	9,979
法人税、住民税及び事業税	2,653	516	2,084
法人税等調整額	△ 259	85	696
四半期(当期)純利益	6,531	1,684	7,198
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1	0	△ 0
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	6,529	1,683	7,198

POINT

1▶ 売上高

横編機事業において、BangladeshやASEAN諸国でコンピュータ横編機の売上が順調に拡大しました。また、中国市場でもホールゲーム®横編機や、シューズ向けにコンピュータ横編機の活用が高まり売上が増加しました。これらの結果、売上高は355億69百万円(前年同期比20.1%増)となりました。

2▶ 営業利益

売上高の増加に加えて、増産効果による売上総利益率の改善などにより、営業利益は80億60百万円(前年同期比46.5%増)となりました。

3▶ 経常利益

営業外費用で前期に計上した大幅な為替差損が為替差益に転じたことなどで、経常利益は88億84百万円(前年同期比284.4%増)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	前第2四半期累計 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
4▶ 営業活動による キャッシュ・フロー	2,862	△ 781	6,988
5▶ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,430	△ 644	△ 1,241
6▶ 財務活動による キャッシュ・フロー	7,578	862	2,470
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 103	△ 916	171
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	8,907	△ 1,479	8,388
現金及び現金同等物の 期首残高	18,286	9,752	9,752
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	145	145
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	27,193	8,418	18,286

4▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加や法人税等の支払いなど資金の減少項目はありましたが、税金等調整前四半期純利益が高水準だったことにより、28億62百万円の資金の増加となりました。

5▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出などにより、14億30百万円の資金の減少となりました。

6▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

新株予約権の行使による自己株式の処分などにより、75億78百万円の資金の増加となりました。

会社概要

会社概要 (2017年9月30日現在)

商号 株式会社島精機製作所
(英文表記) SHIMA SEIKI MFG., LTD.
本社 和歌山県和歌山市坂田85番地
設立 1962年2月4日
資本金 148億5,980万円
従業員数 1,332名(連結1,917名)
事業内容 コンピュータ横編機
デザインシステム
自動裁断機
手袋靴下編機 などの開発、製造、販売

役員 (2017年9月30日現在)

地位	氏名	担当および重要な兼職
代表取締役会長	島 正博	
代表取締役社長	島 三博	営業本部長兼経営企画部担当
常務取締役	和田 隆	生産本部長兼生産技術部、製造技術部、システム製造技術部担当
常務取締役	有北 礼治	開発本部長
常務取締役	梅田 郁人	営業本部副本部長兼島精機(香港)有限公司CEO
取締役	藤田 紀	総務人事部長
取締役	中嶋 利夫	トータルデザインセンター部長
取締役	南木 隆	経理財務部長兼管理部、物流部担当
取締役	西谷 泰和	資材部長
取締役	西川 清方	営業統括部長
取締役	一柳 良雄	株式会社一柳アソシエイツ代表取締役&CEO/キャスター
取締役	残間 里江子	株式会社キャンディッドプロデュース代表取締役社長/プロデューサー
常勤監査役	植田 光紀	
常勤監査役	田中 雅夫	
監査役	新川 大祐	北斗税理士法人 代表社員
監査役	野村 祥子	堂島法律事務所 パートナー弁護士

(注) 1. 取締役 一柳良雄、残間里江子の両氏は、社外取締役であります。

2. 監査役 新川大祐、野村祥子の両氏は、社外監査役であります。

社外取締役メッセージ



一柳 良雄

株式会社一柳アソシエイツ
代表取締役&CEO
「日本の未来」キャスター
(BSジャパン)

略歴

1968年に通商産業省(現・経済産業省)入省、1998年に同省退官。2000年にコンサルティング会社「一柳アソシエイツ」を設立し代表取締役&CEOに就任。2014年より当社社外取締役に就任。

シマセイキが真のグローバル企業として、持続的に成長していくための提案を行います。

この1年間で最大の取り組みは、後継者育成の実行です。これは事業継続におけるリスクマネジメントでもあり、今後も持続的に成長していくための体制を整えることができたと考えます。

シマセイキには素晴らしい技術やものづくりの基盤があります。しかしながら、世界を舞台にさらなる成長を目指すには、ダイバーシティの推進などを通じてより広い視点で経営を捉えることが重要です。

私は行政機関に長年勤務し、経営コンサルタントとしても多くの企業の相談に乗ってきた経験・知見を生かし、ガバナンスの強化や中期経営計画の策定などで提言を行ってきました。今後も、シマセイキがよりグローバルに活躍できる企業になるための課題把握と提案を続けてまいります。

株式概要

株式の状況 (2017年9月30日現在)

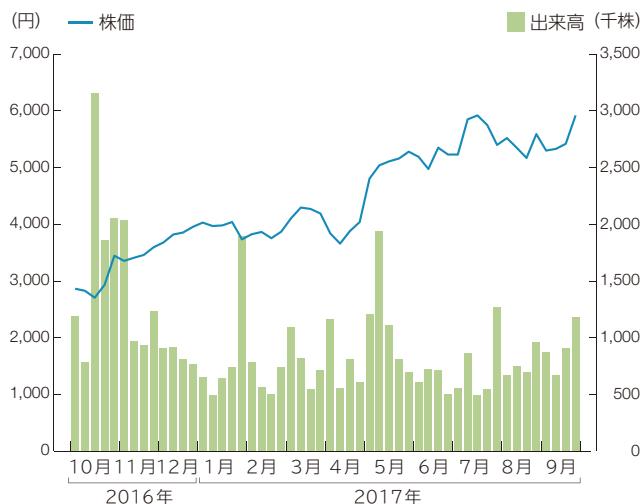
- ①発行可能株式総数…………… 142,000,000株
- ②発行済株式の総数…………… 36,600,000株
- ③株主数…………… 11,862名
- ④大株主

(千株未満切り捨て)

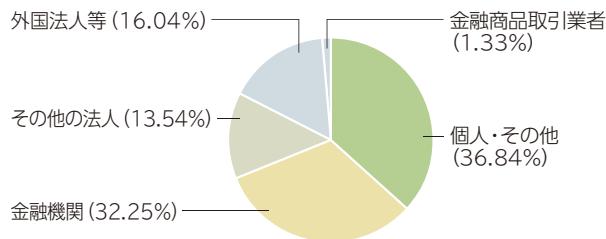
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
和島興産株式会社	4,020	11.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,564	7.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,863	5.10
株式会社紀陽銀行	1,472	4.03
島 正 博	1,070	2.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,062	2.91
島 三 博	1,061	2.91
株式会社三菱東京UFJ銀行	880	2.41
合同会社和光	780	2.14
株式会社池田泉州銀行	700	1.92

(注) 当社は、自己株式87千株を保有しています。
持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

株価と出来高の推移



所有者別分布



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 基準日 3月31日
開催日 毎年6月

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告

下記当社ホームページに掲載
(<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホールガーメント® ニットウェアの「NUONE + HADACARE」が 日本アトピー協会の推薦品マークの認証を受けました



「NUONE + HADACARE」シリーズ

当社の子会社で、ホールガーメント製品の企画・販売を行っている株式会社SHIMAが展開するブランド「NUONE(ヌワン)」の「HADACARE(ハダケア)」シリーズが日本アトピー協会から推薦品の承認を受け、7アイテムの全国販売を開始しました。「HADACARE」シリーズは、低刺激で抗菌効果も持つ機能性素材「クラビオン®」を使用。ホールガーメントに素材の機能を加味したことにより、皮膚の敏感な方の衣生活に快適さと安心を提供します。

※クラビオンはオーミケンシ株式会社の登録商標です。

オンラインショップで購入できます

シマ オンラインショップ



<http://shima-onlineshop.com/>



日本アトピー協会

日本アトピー協会推薦品 承認番号 T1708500A

このマークは、日本アトピー協会推薦品であることを表すマークです。日本アトピー協会はアトピー性皮膚炎及びアレルギー諸疾患患者の方の生活向上支援と、同疾患への正しい理解のための情報発信を行うことを目的としています。



株式会社島精機製作所
〒641-8511 和歌山市坂田85番地
TEL(073)471-0511(代表)
<http://www.shimaseiki.co.jp/>

SHIMA SEIKI、シマセイキ、WHOLEGARMENT、ホールガーメント、SWG、SSR、SVR、SDS、SDS-ONE、SDS-ONE APEX、P-CAM、トータルファッションシステムは株式会社島精機製作所の日本及びその他の国における登録商標または商標です。

この冊子に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。